

あさひかわ

西高通信

Vol.36

発行：旭川西高東京同窓会／2020年2月12日

事務局：〒111-0041 東京都台東区元浅草2-10-17 荒川氷付

ホームページ：旭川西高東京同窓会.jp

Nishiko Linkage 2020

昨年12月、完成した新国立競技場 撮影：堀 晃(22期)

実施要項

第38回旭川西高東京同窓会 2020年4月25日(土)

時間：12:00～14:30(受付11:30)

会場：上野精養軒

東京都台東区上野公園4-58 Tel:03-3821-2181

会費：一般会員 8,000円
20～30歳代 5,000円
20歳未満・現役学生 無料

※別途年会費1,000円を徴収 ※当日欠席なさる方は
振込用紙にて年会費のご協力をよろしくお願ひします。
※新卒の皆さん、HPからのお申込みも大歓迎！

イベント オリパラじやんけん大会
「東京パラリンピック」にペアでご招待！
優勝 パラリンピック陸上決勝・表彰式(9月5日夜)ペアご招待
準優勝 パラリンピック陸上予選・決勝(9月4日昼)ペアご招待
入賞 TOKYO2020オリパラグッズ(若干名)

ひとつ足先に、
西高五輪の輪を
咲かせよう！

オリンピックイヤー、しかも56年ぶりの東京開催。この記念すべき年、わたしたちもオリンピズムにならい友好の輪を広げませんか。

宴の前半は同期同士で楽しく集い、後半は交流スペースの輪に加わり、同窓、同郷人との新鮮な出会いを楽しんでください。

宴の最後には、世紀の瞬間に立ち会える、あの新国立競技場での「東京パラリンピック陸上決勝」観戦チケットがペアで当たる“じょんけん大会”を開催！どうぞ期待ください！

1の輪…若い期と交流しよう！

2の輪…集まれ！部活の輪

3の輪…校長先生、恩師とつながる輪

4の輪…西高つながり！名刺交換会

5の輪…趣味・遊びでつながる輪

社会人1年目の近況報告

66期
井上 遥

全国から気鋭の書家が出品する創玄
現代書展で、数名に与えられる栄誉
「白鷗賞」に66期のふたりが輝いた

書道部で全国優勝した際に東京同窓会から袴を沢山頂きました。ありがとうございました。
西高を卒業後、靴職人になりますと言つて東京の専門学校へ。東京は「春・夏・長い秋」
みたいで良いなと思っていたけど、もう東京の女なので普通に寒いです。私は大学ではなく専門学校に行って正解だったと思います。やりたいことを応援するよと言つてくれた両親に感謝しています。3年間で沢山鞄を作つて卒業しました。

就職活動を始め、求人票の条件に普通免許と書いてあり、自動車学校に通いました。非公認自動車学校に通つたら、最後の路上試験で5回落ちました。入社4日前、6回目の正直で普通免許取得しました。無事今年(2019)の4月にお財布のメーカーに就職しました。毎週のように都内を運転しています。毎日が勉強で、財布づくりはとても難しくて、とても楽しいです。

書道はまだ続けています。この間、創玄現代書展という書道の展覧会で、西高の同期(66期)の宮崎万由と白鷗賞を同時受賞しました。西高で素敵なか仲間と出会いました。宮岡先生ありがとうございました。

今の目標はみんなで筆を置かないことです。新卒で給料が低くて家賃が高くて東京には誘惑が沢山あって大変で楽しいです。妹のあかりちゃんは写真で全国大会に行つたらいいです。おめでとう! この近況報告作文の締め切りは10月末で、今は10月31日です。余裕を持った大人になれるように頑張ります。



井上 遥書



宮崎万由書



Nishiko Linkage Award

西高リンクージアワード 受賞者のその後

2000年より東京同窓会では功績のあった在校生を表彰しています。



スカッシュ練習風景

スカッシュで上をめざす

西高リンクージアワードにご選出いただきありがとうございます。

2019年6月に日本からの派遣選手として、ペナンジュニアオープンに参加しました。

昨年に続き2回目の参加で、結果は21位と昨年よりも上に行くことができましたが、

自分の弱さを痛感しました。ですが、協会側の派遣の目的は経験を積んで欲しいということ



旭川西高等学校
2年
佐藤 舞雪

だったので、その目的は達成できたと思います。一緒に行った派遣選手の1人は男子ジュニアチャンピオンの選手です。彼の日本1位としての自覚や、日本代表として海外で戦っていく覚悟が、私とはかけ離れていて衝撃を受けました。一緒に出場していた日本選手の中にはペナンやクアラルンプールで練習している選手もいます。日本での家族との生活や、今までの友達など、色々なことを犠牲にして海外で頑張っていく覚悟を目の当たりにしました。スカッシュを頑張っている者同士だけ、精神面で大きな差があることを痛感しました。多くのものを犠牲にしていく覚悟が私には足りていません。

また9月には全道選手権があり、念願の北海道チャンピオンになることができました。昨年のリベンジも果たし、全てストレート勝ちでの優勝でした。少しは強くなっていることを実感することができました。11月には全日本選手権があります。昨年はベスト64でしたが、今年はベスト16に入れるよう頑張ります。

浮かれていたのは父だけではない。西高一年だった私もテレビにくぎ付け、開幕式から閉会式までどのシーンもカラ一で鮮明に覚えてる。白黒テレビだったのに? 翌年、修学旅行で上京した際はオリンピックの会場を目にして感動したものだ。

あれから半世紀余り。山も谷もあつたが、それでもみんなが未来への期待を胸に過ごすことができたのは、かつてない輝きを見せたあの時代からのエネルギーのおかげではないか。いつの間にか錆びてしまつた記念硬貨を久しぶりに手にして、そんなことを考えた。

さて、次のオリンピックは何をもたらしてくれるだろう。浮かれ気分に誘われて、都心に出たついでに完成間近の新国立競技場をじっくり見上げてきた。

錆びた銀貨

17期
日高昇一



コラム 東京オリンピック1964

